

Pivotal Cloud Foundry でのデプロイ

このブログ記事は、ChatGPT-4o の助けを借りて書かれました。

目次

- はじめに
- Pivotal Cloud Foundry の始め方
- CredHub を使用したシークレットの保護
- Pivotal Cloud Foundry へのアプリケーションのデプロイ
- モニタリングとログの取得
- 結論

はじめに

Pivotal Cloud Foundry (PCF) は、開発者がアプリケーションを迅速かつ効率的にデプロイ、管理、スケーリングできる人気のオープンソースのプラットフォーム・アズ・ア・サービス (PaaS) です。これに加えて、CredHub という資格情報を安全に保存およびアクセスするためのサービスを組み合わせることで、アプリケーションの構築と実行のための堅牢な環境を提供します。このブログ記事では、Pivotal Cloud Foundry のセットアップ、CredHub を使用したシークレットの管理、アプリケーションのデプロイ、そして `cf logs` を使用したモニタリングについて順を追って説明します。

Pivotal Cloud Foundry 入門

Pivotal Cloud Foundry (PCF) は、クラウドネイティブアプリケーションの開発、デプロイ、運用を支援するプラットフォームです。このガイドでは、PCF の基本的な使い方について説明します。

1. PCF のインストール PCF を利用するには、まずプラットフォームをインストールする必要があります。以下の手順に従ってインストールを行います。

PCF のインストールコマンド例

```
pivotal-cloud-foundry install
```

2. アプリケーションのデプロイ PCF にアプリケーションをデプロイするには、`cf push` コマンドを使用します。

アプリケーションのデプロイ例

```
cf push my-app -p path/to/your/app
```

3. サービスのバインド PCF では、データベースやメッセージキューなどのサービスをアプリケーションにバインドすることができます。

サービスのバインド例

```
cf bind-service my-app my-db-service
```

4. アプリケーションのスケーリング PCF では、アプリケーションのインスタンス数を簡単にスケーリングできます。

アプリケーションのスケーリング例

```
cf scale my-app -i 3
```

5. ログの確認 アプリケーションのログを確認するには、`cf logs` コマンドを使用します。

ログの確認例

```
cf logs my-app --recent
```

以上が PCF の基本的な使い方です。これで、PCF を使ってアプリケーションを開発・運用する準備が整いました。

Pivotal Cloud Foundry は、アプリケーションのデプロイとスケーリングを簡素化します。以下は、その使い始め方です：

1. Pivotal Cloud Foundry CLI のインストール:

- 公式ウェブサイトから Pivotal Cloud Foundry CLI をダウンロードしてインストールします。
- インストールを確認します:

```
cf --version
```

2. Pivotal Cloud Foundry へのログイン:

- Pivotal Cloud Foundry の API エンドポイントをターゲットに設定します:

```
cf api https://api.your-cloud-foundry-instance.com
```

- 認証情報を使用してログインします:

```
cf login
```

3. Spaces と Orgs の設定:

- アプリケーションとリソースを論理的に分離するために、組織（Orgs）とスペース（Spaces）を作成および管理します。

CredHub を使用したシークレットの保護

CredHub を使用すると、アプリケーション内で安全に資格情報を保存、生成、およびアクセスすることができます。以下に、Pivotal Cloud Foundry と CredHub を統合する方法を示します。

1. CredHub の設定:

- Pivotal Cloud Foundry 環境内で CredHub がデプロイされ、設定されていることを確認します。
- CredHub CLI を使用して CredHub と対話します:

```
credhub login -s https://credhub.your-cloud-foundry-instance.com --ca-cert <path-to-ca-cert>
```

2. シークレットの保存:

- CredHub にシークレットを保存する:

```
credhub set -n /cflab/db_password -t password -w s3cr3t
```

- シークレットを取得する:

```
credhub get -n /cflab/db_password
```

3. CredHub とアプリケーションの統合:

- サービスバインディングまたは環境変数を使用して、CredHub のシークレットを Pivotal Cloud Foundry アプリケーションにバインドします。

Pivotal Cloud Foundry へのアプリケーションのデプロイ

Pivotal Cloud Foundry (PCF) にアプリケーションをデプロイするのは簡単です。以下にステップバイステップのガイドを示します：

1. アプリケーションの準備:

- アプリケーションに設定用の `manifest.yml` ファイルがあることを確認します:

```
applications:  
- name: my-app  
  memory: 512M  
  instances: 1  
  path: .
```

2. アプリケーションのプッシュ:

- `cf push` コマンドを使用してアプリケーションをデプロイします:

```
cf push my-app
```

3. アプリケーションのスケール:

- インスタンスの数をスケール:

```
cf scale my-app -i 3
```

4. 環境変数の管理:

- アプリケーションの環境変数を設定します:

```
cf set-env my-app DB_PASSWORD s3cr3t
```

- 変更を適用するためにアプリケーションを再ステージングします:

```
cf restage my-app
```

監視とログの取得

Pivotal Cloud Foundry は、アプリケーションの監視を支援する堅牢なロギング機能を提供します:

1. ログの表示:

- アプリケーションの最近のログを取得する:

```
cf logs my-app --recent
```

- リアルタイムでログをストリーミングする:

```
cf logs my-app
```

2. ログの分析:

- ログを使用して問題のトラブルシューティングを行い、パフォーマンスを監視し、アプリケーションの動作に関する洞察を得ます。

3. ログ管理の設定:

- Loggregator やサードパーティのサービスと統合して、ログを集約し分析します。

結論

Pivotal Cloud Foundry と CredHub を活用することで、アプリケーションを安全かつ簡単にデプロイおよび管理することができます。Pivotal Cloud Foundry の PaaS 機能により、デプロイプロセスが効率化され、CredHub はアプリケーションのシークレットを安全に保管します。堅牢なロギングとモニタリングツールを備えているため、アプリケーションのパフォーマンスと健全性を高い可視性で維持できます。このセットアップは、セキュリティを強化するだけでなく、運用効率とスケーラビリティも向上させます。